

経営理念の変遷



第1版「理念ブック」

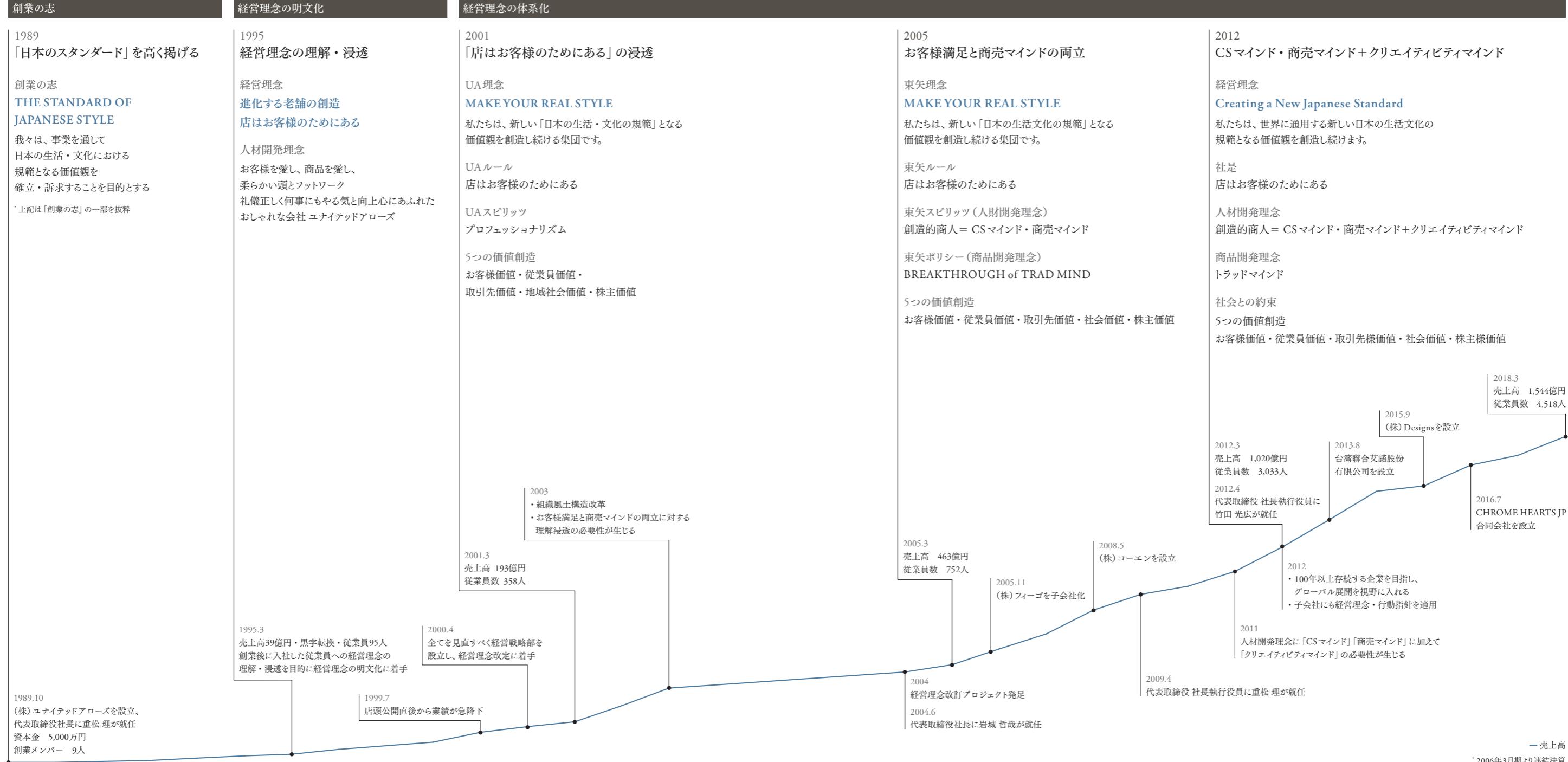


第2版「理念ブック」



第3版「理念ブック」

左より、経営理念が描かれた「VISION」、従業員の声を集めた「VOICE」、当社らしい風景というテーマで従業員から寄せられた写真で構成される「VISUAL」。



当社は、1989年の創業時に現在の経営理念の礎となる「創業の志」を掲げました。以来、経営理念の根幹である「新しい日本の生活文化の規範となる価値觀の創造」を志に、「店はお客様のためにある」を全ての企業活動や判断の軸としています。

経営理念とは、当社が永続的に目指す方向、すなわち事業目的そのものです。当社は何のためにあるのか、私たちは何のため働くのかという認識を、多様な価値觀を持つ従業員が共通に

意識し、同じ方向に進むための指針となります。この考え方こそが、社名「UNITED ARROWS」(=束ねた矢)の由来でもあります。

経営理念の浸透により、全経営・従業員の目的が明確になり、実現へ向けて一人ひとりが自ずと考え、進化、改善を重ねながら突き進むことで、結果として、会社が目指す方向へ進むことができます。この理念経営が当社の持続的な成長を支えています。

創業以来、経営理念の根幹は変わっていません。本質はそのままに、経営環境や課題に応じて改定しています。その度に、当時の課題の解決を図りましたが、新たな課題も生まれました。経営環境の変化や業務拡大に伴う新たな課題解決のため、経営理念に立ち返るとともに見直しを図る、このようなプロセスを重ねています。改定の都度プロジェクトを組むことで、従業員の理解浸透を一層図りながら、経営理念への思いを再確認する機会とし、風化

させないよう努力を続けてきました。現在、UAグループ中期ビジョンの戦略の一つである「強い経営基盤の確立」に向け、理念ブックの3回目となる改訂を進めています。今回の改訂では、理念体系の整理と表現方法の見直しを行うことで、全従業員の理念への理解度を高めます。さらに、浸透策を通じ、理念を体現する従業員を増やすことを目指します。経営理念を軸とした強い経営基盤を早期に確立することで、次代の成長へつなげます。